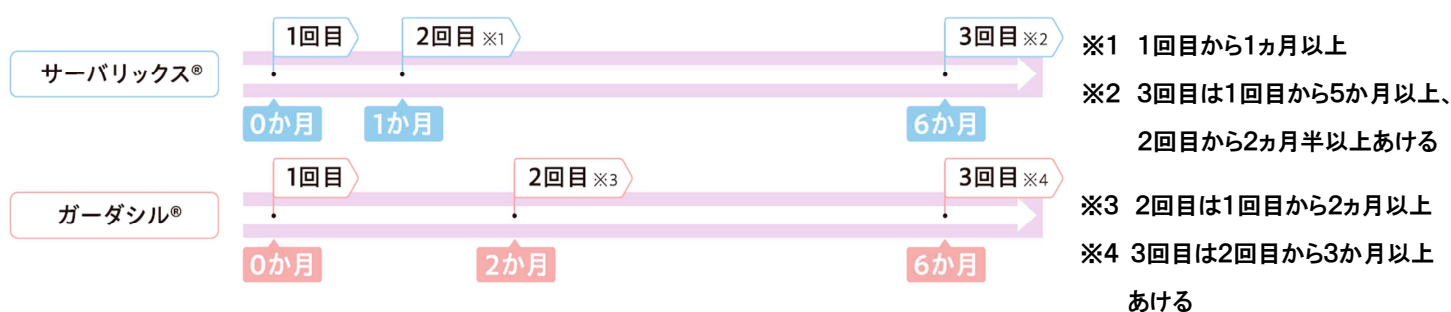


# 子宮頸がんワクチンの接種方法について

## ・ワクチンの種類と接種間隔

現在、定期接種の対象となるのは2価ワクチン(サーバリックス)と4価ワクチン(ガーダシル)の2種類です。2価ワクチンは子宮頸がんワクチンの原因となるウイルス2種類に対抗でき、4価ワクチンはそれに加えて尖圭コンジローマ及び再発性呼吸器乳頭腫症の原因となる2種類のウイルスに対抗できるものとなります。また、それぞれワクチン接種間隔が異なります。

## 一般的な接種スケジュール



- (1) とともに、1年以内に接種を終えることが望ましいです。
- (2) 医療機関で同じワクチンの予防接種を3回受けてください。
- (3) 他の予防接種との兼ね合いがあるため、かかりつけ医(接種医療機関)とのご相談の上、接種スケジュールを立ててください。(例:新型コロナワクチンは前後2週間他のワクチンを接種することができません。)

・9価ワクチンについて(2021年2月から国内で販売開始。2価・4価で予防するウイルスに加えて9種類のウイルスを予防する。)・・・いままでに9価ワクチンを接種した方は、同じワクチン(9価ワクチン)で残りの回数の接種を受ける必要があります。9価ワクチンは定期接種対象のワクチンではないため、任意接種(自費)となりますのでご了承ください。